

## 採用ガイダンス 知事あいさつ

平成 28 年 3 月 22 日

みなさんおはようございます。

今日は、広島県職員採用ガイダンスに集まっただきありがとうございます。みなさんが広島県庁を就職先として考えていただいていることは、我々にとっても大変うれしいことだと思っていますし、心から歓迎したいと思います。

この後職員との意見交換や職場見学などがありますが、私からは、広島県庁はどんな人を求めているか、あるいは県庁はどんな職場なのかということをお話します。

その前に、今は非常に景気がよく、皆さんは就職の選択肢がたくさんあるのではないかと思います。他方、学生の皆さんは社会人への一步を踏み出すということで、人生の大きな転機であり、色々な不安を抱えておられると思います。広島県庁としてというよりも、一社会人の先輩としてアドバイスすると、今、時代は色々変わっていて、一旦就職した後、職を変えるということは良くあることになってきています。私自身も最初は通商産業省に就職して10年ほど働いた後、起業して、その後企業を相手にコンサルティングもやって今に至っているのですが、一番大切なのは、自分の気持ちを大事にしながら、色々な人に出会って、悔いのないように就職活動をすることだと思います。

話を戻しまして、広島県庁としてどんな人を採用したいかということは非常に簡単で、お手元の採用パンフレットの1ページに、広島県職員の行動理念というものが書いてあります。これはどういうものかという、広島県庁とは何をするのか、職員の心構えは何かということをもとめたもので、職員みんなで作ったものです。ここに書いてあることを果たしていくことが広島県庁の目的であり、価値観と行動指針に書いてあるように働いていくことが、広島県職員に求められる働き方です。

広島県庁は、地方自治法の規定によって設置されているので、いわば存在して当たり前のものです。うまくいっても、うまくいなくても存在し続けます。しかし、実は、これはかなり危険なことなのです。例えば、ある自治体が財政破綻したとしても、その自治体はなくなりません。だからこそ、職員はその地域がうまくいくようにしていくことに大きな責任を持っているわけです。そして、どのように地域をよくしていくかということが、まさにこの行動理念に書いてあります。広島県庁が求める人材というのは、この行動理念の「使命」を果たしたい、「価値観と行動指針」のように働きたいという熱意を持っている方です。広島県庁流に言えば「地域社会全体の価値を高め、発展させ、将来にわたって、広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かったと心から思える広島県を実現する」ことに挑戦するのだという人に来てほしいということです。

志望理由の中には、実家が近いからとか、公務員は安定しているからという理由があるかもしれません。このような理由があってもいいのですが、第一の志望理由が、広島県という地域の価値を高め、発展させることに一生懸命取り組みたいということではなければなりません。

行動理念には、当たり前なことが書いてあると思われるかもしれませんが、当たり前なことを徹底して実践するのは簡単にできることではありません。では、なぜ行動理念が大事なのかということですが、結局組織というのは、目的を一つにしないとうまくいかないものなのです。

例えば、大学でテニスをやるとして、インカレ出場を目指す体育会のテニス部もあれば、仲間づくりをするためにみんなで楽しくテニスをするサークルもあるわけです。仲間づくりのためにテニスをしたい人が、インカレを目指すテニス部に入ったら、目的がマッチしないので、本人も不幸だし、テニス部にも迷惑がかかります。このように組織とメンバーの目的を1つに合わせていくというのは非常に大切です。

今は時代が変わり、必ずしも最初に就職した会社に一生いる時代ではないと申し上げましたが、特に大企業では、まだ一生同じところに勤める人は多いです、広島県庁もそういう人が大半を占めています。

そういう意味で、本当に自分が何をしたいのか、何に自分の命を燃やすことができるのかということをよく考えることが重要です。そのうえで、広島県職員の行動理念を実践し、命を燃やすんだという決意をしたらぜひ広島県庁に来てほしいと思います。

では広島県庁はどんなところかという、この行動理念を実践するのだという人がたくさんいます。そしてとても良い人が多いです。皆さんまじめですし、人間的にも尊敬できる人が多いです。公務員は事なかれ主義だとか、できるだけ働かないようにするというイメージもあるかもしれませんが、全くそういうことはありません。広島県庁に来ていただければ、一生を過ごす上でとても大事な仲間や上司・先輩・後輩にきっと恵まれると思います。

これから時代がどういう風に変化していくのかは誰にもわかりません。私が就職したときには、みんながこぞって銀行、特に都市銀行（都銀）に就職しました。その当時は銀行がつぶれるなんて誰も思いませんでした。ところがしばらくすると、経営破綻する都銀が出てきたし、今では当時の名前をそのまま引き継いでいる銀行は一行もありません。

だから決して、皆さんの将来が不変であるということはありません。公務員が今後どうなっていくのかも全く分からないわけです。しかし、広島県という地域を良くしていく仕事はなくなりません。したがって広島県を良くしていくんだという熱い気持ちを大事に

していただきたいと思っていますし、そういう人にとって広島県庁はよい職場だと思います。

これから採用試験まで、よくよくそのことを考えてもらって、行動理念に共感してくれる人は、また来年の4月にお会いできることを楽しみにしています。それでは今日は充実した1日になるように頑張ってください。

ありがとうございました。